

(別紙3) 機器・ソフトウェア要件

1 CSサーバ					
(1)	機器仕様	種別	ラックマウント型であること。		
		数量	1台		
		CPU	Xeon プロセッサ (2.00GHz 以上かつ1CPU 当たりのコア数が4 以上のもの) ×1 または、上記プロセッサと同等以上の性能を有する互換プロセッサ (1CPU 当たりのコア数が4 以上のもの) ×1 64 ビットのOS およびアプリケーションが動作可能な製品を調達すること。インテル64 アーキテクチャ (旧称：インテル・エクステンデッド・メモリ 64 テクノロジまたはインテルEM64T) または、これに相当するアーキテクチャに対応するCPUであって、64 ビットのOS およびアプリケーションが動作可能なCPU がこれに該当する。 プロセッサの搭載可能ソケット数は4 ソケット以下であること。 搭載するCPU の最大コア数は4コアまでとすること。		
			メモリ	32GB以上 ECC機能付きであること。	
			HDD	ディスク障害時に備え、ディスクの冗長化 (RAID-1 またはRAID-5) をとること。 ハードウェアによるRAID-1 またはRAID-5 構成後の実効容量として、700GB以上を確保すること。 機器を本体内に内蔵すること。 SSDとすること。	
				ドライブ	LTOドライブ (LTO 6 以上)×1 DVD-RAM ドライブ×1 システムバックアップで使用する媒体を扱えるドライブ×1 DVD-RAMドライブは、片面4.7GBまたは両面9.4GBのClass0 (書き込み速度2～5倍速) の媒体を扱えるものとする。また、Type3またはType5の媒体を扱えるものとする (Type2またはType4の媒体においては、カートリッジから取り出して、Type3またはType5と同等の媒体として取り扱えることでもよい)。また、2層式 (DVD+RDLやDVD-RDL) の媒体を扱えるものとする。 機器を本体に内蔵またはラックに搭載すること。
					NIC
		インターフェース	PCI Expressスロットの空きが2個以上あること。(耐タンパー装置が搭載できること) 調達するディスプレイと接続可能なこと (ミニD-SUB15 ピン,DVI-D,HDMI のいずれかに準拠すること)。 USBポート(2.0準拠) を 3 個以上		
			その他	電源を冗長化し、活性交換可能であること。 調達するUPSと連携し、安定したシャットダウンが可能であること。	
				(2)	ソフトウェア
		データバックアップソフトウェア	Arcserve Backup 19.0 for Windows (Arcserve 社製) ×1		
		システムバックアップソフトウェア	サーバでの障害発生時に、OSをインストールすることなく即時にサーバを復旧可能な機能を有するソフト		
		電源監視	無停電電源装置と連携して電源制御、スケジュール運転を可能とする機能を有するソフトウェア ×1		
		耐タンパー制御	住民基本台帳ネットワークシステム耐タンパー装置 (Luna PCIe A700) を制御するソフトウェア ×1		
照合情報読取装置制御	AuthConductor 生体認証ミドルウェア V 3 1 インストール (A28792SM) ×1 AuthConductor 生体認証ミドルウェア V 3 メディアバック (A287C2SL) ×1				
(3)	その他	本市住基システム及び住基ネットワークシステム (都道府県サーバ、他市町村CS) とデータ交換が行えること。 【参考】 指定情報処理機関配付ソフトウェア一覧に記載のソフトウェア、 (2) 記載のソフトウェアが正常に稼働すること。 本市が用意する監視サーバで本機器を監視するため、必要となるSNMPの設定を行うこと。			
2 スイッチングHUB					
(1)	概要	各ポートで固定設定が可能であること。 接続するポートでは、フルワイヤーの性能が出ること。 SNMPトラップに対応していること。			
(2)	機器仕様	種別	ラックマウント型であること。		
		数量	3台		
		NIC	1000BASE-T または100BASE-TX 8ポート以上		

(別紙3) 機器・ソフトウェア要件

3 住基ネットファイアウォール			
(1)	概要	オペレーティングシステム(OS)およびファイアウォール処理／管理のソフトウェア以外は、原則動作させないこと。ファイアウォールの初期設定で、不要なソフトウェア（ネットワークサーバアプリケーションなど）が動作する場合には、動作しないよう設定を変更すること。	
		本ネットワークシステム上の処理、および本ネットワークシステムに関連する処理に係る通信のみを許可し、それ以外の通信を拒否するようにルールを設定すること。	
		ファイアウォール自体への、不正アクセスを防止するルールを設定すること。	
		ファイアウォールの管理は、ファイアウォールに直接端末を接続して実施するか、特定の管理用端末を決めてその端末から実施すること。管理用の端末を使う場合は、運用管理者のみアクセス可能な場所に設置すること。	
		アプリケーションレベルの通信制御ができるものとする。	
(2)	機器仕様	種別	ラックマウント型であること。
			トータルユニット数が2U以下であること。
		数量	1台
		NIC	10/100/1000BASE-Tを4ポート以上搭載可能なこと。
		その他	自動復電機能を有していること。
(3)	その他	本市が用意する監視サーバで本機器を監視するため、必要となるSNMPの設定を行うこと。	

4 その他の機器			
(1)	モニタ・キーボード・マウス	17インチ以上のTFTモニタ(1,024×768 ドットおよび1,280×1,024ドットの表示が可能なこと。256 色以上の表示が可能なこと。)	
		インタフェースはミニD-SUB15 ピン,DVI-D,HDMI のいずれかに準拠することとし、調達するサーバと接続可能なこと。	
		日本語キーボード(OADG準拠日本語109キーボード)	
		PS/2 マウスまたはUSB マウスであること	
		未使用時は格納できること。	
		格納時は1U以内であること。	
(2)	UPS	種別	ラックマウント型であること。
		数量	2台以上 (CS機器1台、FW1台に対して安定した電源を供給できること。)
		性能	自動シャットダウンする管理機能を有すること。
			スケジュール運転を可能とする機能を有すること。
			バッテリーの残量がGUIで把握できること。
(3)	耐タンパー装置	数量	3枚
		機種	住民基本台帳ネットワークシステム耐タンパー装置 (Luna PCIe A700) (Thales 社製) ※CSへ2枚搭載。1枚は予備として保管すること。
(4)	照合情報読取装置	数量	1台
		機種	住基ネット用操作者認証装置 (V3) (ガイド有り) [FAT13FLJL1](富士通株式会社製)
(5)	LTOテープ	数量	データ媒体 12本 クリーニングテープ 1本
		種別	本調達で導入するLTOドライブ「ドライブ仕様 (LTO6以上)」に適合したものであること。
(6)	データカートリッジ RDX	数量	データ媒体 4本
		機種	本調達で導入するCSのシステムバックアップが可能であること。(データカートリッジRDX 1TB以上)

【参考】指定情報処理機関配付ソフトウェア一覧

指定情報処理機関にて用意し、各市町村に配付されるソフトウェアは下記のとおり

	機能	製品名	製造元
(1)	ジョブ管理マネージャ	・ Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition	富士通 (株)
		・ Systemwalker Operation Manager Standard Edition (注1)	富士通 (株)
(2)	ファイルデリバリソフト	・ Systemwalker Centric Manager Standard Edition (注1)	富士通 (株)
(3)	文字管理ソフト	・ Interstage Charset Manager (注1)	富士通 (株)
(4)	データベース管理ソフト	・ Oracle Database 19c StandardEdition 2	日本オラクル (株)
		・ Oracle Client	日本オラクル (株)
		・ Oracle Grid Infrastructure (注2)	日本オラクル (株)
(5)	ウイルス除去・検出ソフト	・ FFRI yarai (注3)	(株) FFRI
		・ Windows Defender (注3)	マイクロソフト

(注1) Systemwalker 及びInterstage の修正パッチを適用するためのソフトウェアとして、UpdateAdviser が併せて配付される。

(注2) CS 本体がMicrosoft Windows Server 2022 クラスタ構成の場合に必要な。

(注3) ウイルス除去・検出ソフトについては、FFRI yarai 及びWindows Defender を同時に動作させた状態で動作確認、設定の調整等を行っている。

これら以外のウイルス除去・検出ソフトは、正常動作しないことがあるため、導入しないこと。